

中高語り場 11月1日(木)

11月1日に広尾中学校体育館にて、中高語り場が行われました。広尾高校の1・2年生14名を講師として、自身が過ごしてきた中高一貫教育について、現在進路選択を考えている中学3年生と語り合いました。高校生は自分の生き方について考える力を養い、中学3年生は進学後のことについて、生の声を聴けるチャンスでもあり、熱心に耳を傾けていました。

語り合った主な内容

- ① 中学3年生の時の進路選択について考えていたこと。
- ② 中学校時代の勉強・部活動などでうまくいったこと、いかなかったこと。
(※高校で使っている教科書やノートも使いました。)
- ③ 高校に入ってから感じたこと・学んだこと。
- ④ 高校時代の勉強・部活動などでうまくいったこと、いかなかったこと。
- ⑤ 進路実現に向けて、良かったこと、痛感していること。



中高広域合同清掃活動 10月4日(木)

10月4日(木)、広尾中学校を拠点に、中高広域合同清掃活動が行われました。当日は晴天に恵まれ、清掃活動がしやすい環境下で行われました。中学生と高校生がグループを作り、お互いに会話を交えながら意欲的に清掃活動に励んでいました。帰校後は、グループ毎に「広尾町」について話し合わせ、活発な意見交換が行われていました。

広尾高校生徒会厚生委員長 2年A組 松田 一丈夫

今年度の中高広域合同清掃は、自分たちの手で町を綺麗にすることができ、また中学生との交流も図ることができたので、とても良い機会になりました。今年の合同清掃では、町を綺麗にすると同時に、町の良い所を一人ひとりが見つけてくることをテーマとして行われました。これにより、改めて自分たちが住む広尾町の良さについて知ることができました。

中学生との交流では、高校生の発想とは違う新鮮な意見を聞くことができ、自分にとって新しい発見でした。中高合同清掃は、広尾町を良くするために、また新しい魅力を生み出すためにも継続してやるべきだと強く思いました。



中高一貫教育だより 広尾の子どもは広尾で育てる

《発行者》広尾町中高一貫教育推進委員会

No. 52
Jan.2019



働くことの意義や大切さ。

8月21日(火)広尾高校にて、インターンシップ発表会が行われました。広尾高校2年生は、6月11日(月)～13日(水)の3日間、広尾町等の事業所30カ所でインターンシップを実施し、その体験をまとめ、内容を発表しました。どの発表も開会式で皆添校長先生の話された3つのポイント①言葉遣いやビジネスマナー②コミュニケーション能力③課題解決を意識した内容となっていました。また発表会には、広尾小学校6年生も参加していて、小中高が連携した広尾町の教育が展開されていました。

今回のインターンシップの発表を通して、高校生からは「コミュニケーション」「積極性」「主体性」の主にこの3つのキーワードについて、大切に伸ばすべき課題だという発言が多く聞かれました。また、中学生も先輩の発表を受け、「職場では、ただ漠然と働くのかな」と思っていたけど、会話する力や、考える力が必要だということが分かった。積極的に責任をもって働かなくてはいけないということもわかった。」と、働くことの意義や大切さについて気付くことができました。



■ SCC (Secondary Collaborated Class) の記録

「SCC」は、中高の乗り入れ授業のことです。「S」は「Secondary」で「中等教育」、
「C」は「Collaborated」で、「協力し合う」、もうひとつの「C」は「Class」で「授業」
の意味です。つまり、「中高で協力し合い、授業を作る」という意味です。
今回は、書写・国語科・数学科・社会科の授業を紹介します。



国語科(書写) 9月21日(金)

広尾中学校の体育館で全校一斉の書写が行われました。広尾高校の百澤先生より、「学級の仲間と協力して一つの大きな作品をつくる」というテーマで、文化祭で歌う学級合唱の歌詞を大きな筆で書きました。慣れない大きな筆で書く担当となった生徒は、最初の一文字を少し緊張した様子で慎重に筆を運んでいました。その様子を学級の仲間が見守り、その後に続く生徒たちも思い思いの文字を書いていました。書く事が苦手な生徒も手形を押したり、色を付けたりと、嬉々として取り組んでいました。完成した作品は、中学校の文化祭で体育館に飾りました。

※中学校では国語科の授業で「書写」を行います。高校の「書道」は、芸術科目の教科になり、国語科の授業とは別に専門的な学びを深めます。

数学科 8月24日(金)

広尾高校1年生が広尾中学校に行き、中学1年生に数学を教えました。夏休み明けの時期で、それまでの学習内容が身についているか、基礎基本の定着はどうかなどの観点と、翌週に控えた学力テストに向け、中学生が解いている内容について、高校生が1対1で採点や解説をしました。一人ひとり、一生懸命に取り組み、理解も深まっていました。



理科 7月12日(木)

この時間は「水溶液の変化」について学習しました。身の回りの水溶液の性質(酸性・中性・アルカリ性について)を、紫キャベツの抽出液と混ぜたときに色が変化する様子を観察し、種類分けしました。水溶液の性質を学習した後の補足的な学習として、実際に身の回りの水溶液にはどのような性質があるかを、自分の目で実際に確かめ、さらにPH試験紙と紫キャベツの抽出液とで、色の変化を比べて確かめました。

生徒たちは、実際に色が変化する様子を見て、身の回りの水溶液の性質を知識として身につけ、さらに、薬品を使用しなくても紫キャベツを用いて反応を観察できることで、実験がより身近に感じられる授業内容となりました。



英語科 4月12日(木)

広尾高校国際交流派遣事業として、広尾でホームステイしていたカナダの2人の留学生と引率の先生が、中学校の授業に参加しました。中学生は英語で、自分のことを話したり、質問したりして、留学生と交流しました。生徒は「カナダの人はとてもフレンドリーで話やすく、英語力の向上にもつながってよかった」と、身につけた英語力を活かすことで自信にもつながりました。

